



福祉・防災最優先の市政に

日本共産党名古屋市議団

日本共産党は、出直し市議選で5議席を確保。公約実現に全力をあげています。3月24日～4月27日の3月議会では、ムダをやめ、福祉・防災最優先の市政を、震災被災地の復興・生活再建に力を、とがんばりました。



▲代表質問に立つ わしの恵子議員（西区）

木造住宅の耐震改修助成 30万円上乘せ実現

東日本大震災をきっかけに応募が殺到した木造住宅耐震改修助成について、本会議などで繰り返し要求。新年度補正予算で市の助成額が60万円から90万円に拡大されました。

地域防災計画の見直しへ

代表質問で、わしの恵子議員は、「東日本大震災の救済・復興は被災者の気持ちに寄り添った支援」をもとめ、「東海地震で浜岡原発は大丈夫か」という市民の不安・思いを伝え、3連動地震を想定していない現行の防災計画の見直しを求めました。

市職員の削減つづけては 災害から市民を守れない

被災地への職員派遣はいいが、その一方で大幅な職員削減に、わしの議員は「災害から市民の命を守るためには、市の職員、とりわけ医療や介護などに携わる職員を削減するのは問題だ」と指摘しました。

名古屋港の高潮防波堤は 液状化で津波を防げない

山口清明議員は、名古屋港の高潮防波堤や防潮壁、堀川口水門などは伊勢湾台風の高潮には対応できても、地震で液状化して津波に対して機能を発揮できない恐れが強いと指摘。「津波は最大2.5mだから心配ない」と市民を説得するのではなく、「名古屋港や周辺の防災課題を明らかにし対策を」と強く求めました。



▲山口清明議員（港区）

浜岡原発

全炉停止へ政治を動かす



▲中電本社に浜岡原発停止を求める田口一登議員（中央）

廃炉を求めて申し入れ

浜岡原発全面停止の決定を受け、日本共産党は5月11日、中部電力本社と愛知県に、浜岡原発の永久停止と再生可能エネルギーへ転換を申し入れました。

自然エネルギーに転換を

原発ゼロへ

日本共産党 市議会でも停止要求

田口一登議員は、3月議会で、世界一危険な浜岡原発の即時停止を要求しました。中部電力の電力供給力には余裕があり、太陽光・熱、風力、水力、地熱、波力、潮力、バイオマスなど再生可能自然エネルギーへの思い切った転換を求めました。

浜岡原発の停止で電力不足が騒がれていますが「環境エネルギー政策研究所の推計によれば、すべての原発を停止しても電力不足は生じない（5月12日付中日新聞）」とも言われています。



▲田口一登議員（天白区）

住民こそ
主人公の
市政を

日本共産党
名古屋市議団



北区
岡田ゆき子
TEL 982-6871



西区
わしの恵子
TEL 532-7965



港区
山口清明
TEL 651-1002



緑区
さはしあこ
TEL 892-5190



天白区
田口一登
TEL 808-8384

暮らしの相談はお気軽に

- ・愛知「しんぶん赤旗」
無料生活・法律相談所 TEL262-2804
- ・東・北・西・中区は TEL912-6096
- ・千種・名東・守山区は TEL762-6820
- ・中村・熱田・中川区は TEL411-4161
- ・南・港・瑞穂区は TEL652-1841
- ・昭和・緑・天白区は TEL807-1092

報酬半減・議会改革推進

河村市長が
提案した

保育料値上げ中止

「市政を変えて」の思いに応える **日本共産党**



保育料値上げの撤回を求めて
名古屋市内に要請する市民

天守閣木造再建など
大型事業推進予算に反対

市民の「政治を変えて」の思いは明確です。しかし、河村市政の予算はあいかわらずの大型事業推進。名古屋城本丸御殿復元に加え天守閣の木造再建、中部国際空港2本目滑走路推進など巨大インフラ整備の促進です。

日本共産党は予算の反対討論で「地震対策の抜本的強化が最優先されるいま、急ぐ必要のない大型事業はストップすべき」と指摘しました。

父母の運動と力合わせ、保育料値上げストップ

日本共産党は、保育料値上げに反対しました。父母のみなさんも、値上げ反対の声を市長に届ける運動をし、予算案は修正され、保育料の値上げを2年連続でストップさせることができました。

報酬半減 わしの団長が談話

議員報酬半減が、全会一致で決まりました。

当初、減税日本案と自民・民主案の2つが提出されました。減税日本案には、前職議員にボーナス上乘せの「特権的」措置が盛り込まれていたため、この措置の削除を求めました。自民・民主案は、報酬半減を暫定措置とし、あらためて第3者機関で市民の意見を求めるとしていましたが、選挙という最大の市民参加の機会ですでに市民の声は明白ではなかったとしました。



市議選で民意は明らか 共産党 ボーナス上乘せの削除要求

審議を通じて、いずれの案も成立の見通しがなくなり、両案とも取り下げられ、全会派が一致する「特例での報酬半減」での条例再提出に至り可決しました。

わしの団長は、「報酬額の本則の改定をめぐる議論は継続されるが、わが党は、先の市議選で示された報酬半減という民意を何よりも踏まえて対応する」と表明しました。

市民の暮らしに寄りそって初質問

公約
実現へ
全力

介護の
利用料
減免を



岡田ゆき子議員(北区)

河村市長「勉強はちゃんとします」

岡田ゆき子議員は、介護サービスが必要なのに利用料が高くサービスを受けられない実態があることを、具体的事例をあげて質問。すでに利用料減免を行っている県内の自治体があることも示し、「財政力のある名古屋でできないはずがない」と市長に求めました。市長は「勉強はちゃんとします」と答えました。

国保料の
引き下げを

さはしあこ議員は、国保料が高くて払えないという市民の声にこたえ、「一人1万円の引き下げは60億円でできる」とその実施を求めました。市長は「(高いという)認識はまったく同じ」としながら、引き下げには応じない姿勢をしめしました。



さはしあこ議員(緑区)

市バス路線再編の見直し求める

地下鉄は伸びたが「バス路線再編で不便になった」という声にこたえ、市バス路線の運行見直しを求めました。交通局長は、「バス利用状況の把握につとめ、地域の実情を調査する」と答弁しました。